



町長新年あいさつ

明けましておめでとうございます。町民の皆様にはご家族お揃いで、健やかに新年を迎えることとお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、一番心に残っていることはやはり連続不審火の恐怖ではなかったかと思えます。二月からはほぼ半年間にわたり町民の皆さんは不安と恐怖の連続であったように思えます。この穏やかな山里の安全、安心を損なう大きな事件でありました。反面、明るい話題としては、九月に行われた広島県消防ポンプ操法競技大会において、厳しい訓練に耐え抜き優秀な成績を収めることができましたことが記憶に新しいものではないでしょうか。

また、昨年執行されました参議院議員選挙において政府与党は大敗し、安倍内閣は一旦は総辞職を決議したものの突然の辞任で福田内閣が誕生いたしました。いわゆる国会での「ねじれ現象」を生んだ参議院議員選挙の敗北は地方の自民党離れが原因であったことから、地方に対する風向きが少し変化してきたよう

な感がします。今後については期待が持てるかなあと思っています。

さて、私たちの新しい町「神石高原町」が誕生して早いもので四年目に入りました。過去三年間は「猪突猛進」のごとく前進してまいりましたが、最近この軌跡を振り返る時間も持つことができ、さらに広く大きく目を向けることができるようになりました。

この一年「泰然自若」をスタンスとして、「人と自然が輝く高原のまち」を目指し、多くの町民の皆様がこの町に住んでよかったですと感じて頂けるようさらに邁進いたします。どうぞご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びといたしまして、町民の皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。ご挨拶といたします。

平成二十年 元旦

神石高原町長 牧野雄光

※「泰然自若」ゆつたりと落ち着いて平常と変わらないさま。